
『処置なし。』

おふ。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『処置なし。』

【Nコード】

N8377M

【作者名】

おぷ。

【あらすじ】

価値観についてのお話。

「誰とでもって訳じゃないですよ」

彼女はそんな風に強弁してみせた。

「例えば二人でカラオケに行くとして、この人とだと楽しいけど、あの人はイマイチ盛り上がらないなあとかってあるじゃないですか」

そうね、あるわね、とあたしは頷いてあげる。

すると彼女は静かに微笑んで、言い募ったりする。

「それとおんなじですよ。この人とセックスするのは楽しそうだなって思ったら、それでいい訳ですよ」

ああそう。あんたにとってセックスってそういうものなんだ。

「そうですよ。だってちっとも特別なものじゃないでしょう」

うーん、どうかしら。結構、特別だと思ってる人はいるんじゃないの。

「そういう考え方はあると思いますよ、私だって。だから私、いつも相手には自分のスタンスを予め説明しますもん」

それでみんな納得するもの？

「そこまで責任は持てませんけど。でもそう説明されておいて、それでもやるんだったら、了解したと見做されるべきじゃありません？」

あんたの言うことは正しいと思うよ。けど相手についてはもう少し慎重になるべきだったんじゃないの。

溜息混じりに言うと、そこで漸く彼女は肩を竦める。

「んー、それは反省しないでもないんです」

別に童貞切るのが生甲斐ってクチでもないんでしょうに。

「まあなんつーか、情にほだされたっていうかですね」

あれは面倒臭いタイプだって、わかりそうなもんじゃない。

「やーでも、好きだって言うから……」

それじゃやっぱり、好きだって言われたら誰でもいいんじゃないかって話になるでしょうよ。

「うーん、そういう傾向も否定出来ないかもしれないのかなあ」
それ認めちゃったら、処置なしだわ。

あたしは大袈裟にお手上げのポーズなんか取る羽目になって。
なんだかなあ、とか思う訳よ。

別にあたしはサークルのお目付け役ってんでもないんだけど。

片端からオトコ喰ってる新参者がいる、なんてウワサがあちこちから聞こえてくるくらいの位置にはいたりする。

で、ちよっと思ひ込みの激しいタイプの可愛いバカが、うっかりハマって問題行動を起こしてるーなんてことになったら、ちよっとなんとかしてよ、って言われちゃったりもするって訳。

頼まれたら無下にも断れないのがあたしのイトコよ。

で、仕方なくタイマンで飲みに誘ってみたはいいけど、別にそこまでは破綻してないっていうのが、彼女の厄介なところみたい。筋は通ってんのよ。ちよっとオカシイだけで。

「オカシイって、ひどいなあ」

いやあんたはオカシイのよ。それは自覚しなさいよ。少なくとも、あたしの好みじゃないわ。

「でも嫌いじゃないでしょ？」

バカじゃないの。

「寝てみます？」

ミイラ取りがミイラじゃないんだから。あたしは男女のそういうのに今更興味はないわよ。

「へんなの」

可愛く笑ったって、ダメなのよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8377m/>

『処置なし。』

2010年12月31日23時15分発行